博報堂DYグループのサステナビリティアクション

環境

Nature Positive Studio（博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ）

「ネイチャーポジティブ」実現とビジネス創出を支援

世界では、「2030年までに、自然を回復軌道に乗せるために、生物多様性の損失を止め、反転させる」ことが掲げられています。そのような概念や考え方は「ネイチャーポジティブ」と呼ばれ、脱炭素に続く、環境と経済のダブルインパクトを目指すビッグイシューとして注目されています。企業のダブルインパクト経営の実現のためのイノベーションを推進するプロジェクト「博報堂SXプロフェッショナルズ」は、本テーマを重点領域と捉え、ネイチャーポジティブ実現とビジネス創出を支援する取り組みとして「Nature Positive Studio」を2023年度にスタートしました。

「Nature Positive Studio」は、「ネイチャーポジティブ」の取り組みを博報堂ならではの「未来生活者発想」で捉えることで、ビジネスや生活の新しい価値を見出し、企画・実行していく取り組みです。マーケティング・ブランディング、PR、ビジネス開発、研究開発、クリエイティブ、メディア開発などの多種多様なメンバーの専門性に基づき支援を行います。

2023年度は、「未来生活者発想」を軸とした統合ソリューションの開発、「ネイチャーポジティブをビジネス機会に変える」と題した社外セミナー、「食」をテーマとしたワークショップなどを実施しました。今後は、このような活動に加えて、企業やメディア、教育機関等との共創、事業やコンテンツ開発などを行っていきます。

「食テーマ」未来生活者発想体験ワークショップの開催（2024年3月・4月）

RESILIENT LIFE PROJECT（博報堂）

生活者を起点にあらゆる困難からレジリエンスする生活様式を考える

日本の最も大きな課題の1つ「自然災害」。4枚のプレートが相接しており、かつ台風の通り道にもなっている我が国は、国土の広さは全世界の約0.25%なのにもかかわらず、自然災害による被害額は、全世界被害総額の2割以上を占めているという状況にあります。

博報堂は、この大きな生活者課題に立ち向かうべく、国立研究開発法人防災科学技術研究所や東京海上ホールディングス（株）らとともに「I—レジリエンス（株）」を設立。その他法人メンバーとともに、自然災害だけではなく、近年増加する社会や個人に起因するあらゆるリスクに備え、より豊かな毎日を送ることのできるライフスタイル「RESILIENT LIFE（レジリエントライフ）」を普及させるコンソーシアムプロジェクトを立ち上げました。

各種メディアでの継続的な情報発信や、連携協定を締結した東京都多摩市をはじめとする地方自治体との共助型コミュニティの推進、各企業との商品サービスの開発や研究など、具体的なアクションを通じ、レジリエントライフを生活者へ定着させていきます。

詳細 ▶ WEB RESILIENT LIFE PROJECT

博報堂DYグループのサステナビリティアクション

環境

kyu House*1の開催～クリエイティビティによる環境課題への挑戦～（kyu）

COP28*2開催のドバイから世界のリーダーに気候変動課題への対応を発信

気候変動課題は世界規模の喫緊の課題です。政府機関と企業が手を取り合い、生活者が立場を超えて力を合わせ、政策や技術革新だけに頼らず行動を変えていく必要があります。当社グループでは、生活者発想とクリエイティビティを活用した、気候変動課題への対応について、世界中のリーダーに発信しています。

2023年11月にドバイで開催されたCOP28期間中、当地で戦略事業組織kyuの傘下企業8社が共同で「kyu House」を開催しました。各国の政府機関、NGOや企業のサステナビリティ推進担当リーダーを対象に、各社の専門性と先進性を活かしたアプローチ手法の紹介や、問題解決にクリエイティビティが果たす役割に関するセッションを実施しました。期間中の来場者は延べ1,400人を超え、中でもIDEOとBEworks主催のセッションは高い関心を集めました。

「kyu House」の開催を機にkyu各社では気候変動に関する案件が増えており、今後も気候変動対策をテーマとした活動に取り組んでいきます。

「kyu House」会場

IDEO主催のセッションの様子

*1 kyu傘下のATÔLYE、BEworks、Gehl、IDEO、Lexington、Neol、Public Digital、SYPartners8社共催イベント。
*2 2023年11月、UAEのドバイで開催された、国連気候変動枠組条約第28回締約国会議。

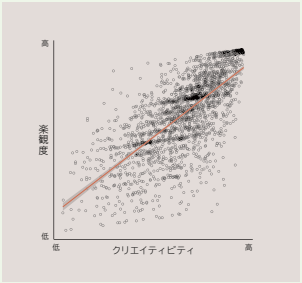
IDEO：気候変動時代におけるリーダーシップ

人間中心のデザイン思考のパイオニアであるIDEOは、気候変動領域におけるリーダーを招き、ティム・ブラウン進行のもとパネルトークを開催しました。気候変動課題の解決に向けて、リーダーに求められる行動や素養に関する議論では、様々な立場、世代、人種、性別の人々を巻き込み、ともに取り組む「インクルージョン」がキーワードとなりました。

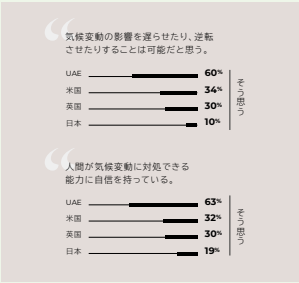
kyu 副会長
IDEO 名誉会長
ティム・ブラウン

BEworks：気候変動時代におけるクリエイティビティの解放

行動経済学を軸にしたコンサルティング会社BEworksは、人々が気候変動に取り組むために必要なマインドセットについて、米国・英国・アラブ首長国連邦・日本で実施した調査結果を公開しました。調査では、多くの人が無力感を抱いている一方で、クリエイティブなマインドセットを持つ人は、問題を前向きに捉え、想像力を働かせながら柔軟にアプローチできることが分かりました。クリエイティビティは、気候変動課題に対処する意欲と行動を生み出す源泉と言えます。



楽観度とクリエイティビティの相関図



人は気候変動をどのように考えているか、の調査結果

詳細 ▶ WEB BEworks

博報堂DYグループのサステナビリティアクション

社会

DEIをIDEAに（UNIVERSITY of CREATIVITY）

未来創造の技術としてのクリエイティビティを研究・開発し社会実装していく

創造性ゼミ

未来創造の技術としてのクリエイティビティを研究し、社会実装する機関として2020年9月に開校したUNIVERSITY of CREATIVITYでは、「Diversity Equity Inclusion（DEI）で解放されるクリエイティビティ」を研究しています。2024年3月期、一般社団法人日本経済団体連合会との共同研究実装プロジェクト「JOINnovator!-DEIをIDEAに-」が始動しました。経済界だけではなく官公庁、大学、国際機関、NPO、学生・生徒の方々と越領域で対話（Mandala）を重ね、イノベーションを実現する「人とチーム」をつくる方法の研究（Ferment）と実装（Play）を進めています。

また、専門性と世代を超えて未来のアーキテクチャを探る「創造性ゼミ」でも講座を持ち、テクノロジー、サステナビリティ、アートなど多様なテーマで参加者と一緒に創造的な学びを行っています。

Interview

My Aspirations

粒違いでアイデアを生み出す、楽しさと可能性

産官学民藝の壁を超え対話するからこそ、新しい見方や組み合わせを発見でき、アイデアを生み出せると信じています。「粒違い」の“化学反応”を楽しみ、自分とチームが駆動する力にしてワクワクする未来を共創していきたいです。

UNIVERSITY of CREATIVITY
プロデューサー
本橋 彩

詳細 ▶ WEB UNIVERSITY of CREATIVITY

こどもスマイリング・プロジェクト（オズマピーアール）

おいしく食べられる食品を、食を必要としている人々へ

オズマピーアールは、「社会デザイン発想®」の考え方を大事にしています。企業と生活者、社会、すべてのステークホルダーが三方良しとなる最適解を見出し、課題解決していくことを大切にする考え方です。

約4年間にわたり一般社団法人サスティナブルフードチェーン協議会主催の「こどもスマイリング・プロジェクト」事務局として、賛同企業の皆さんとともに、職業体験型食育プログラムを提供し教材として食品を寄贈する新しいスキームの構築や、企業から預かった食品を子どもたちに届けるハートドライブキャンペーンを実施しました。

2024年問題で物流コストが高騰する中、基礎自治体等とも連携し、地域で食を集め、食を配る地域共生型食品寄贈スキームの構築を目指しています。今後もおいしく食べられる食べ物を、食を必要としている人々に届けられるような仕組みづくりを推進していきます。

Interview

My Aspirations

食のサステナブルな取り組みを通じて多くの子どもたちの笑顔を広げたい

「まだおいしく食べられる食品を、必要とする子どもたちへ届けたい」という気持ちで、一般社団法人サスティナブルフードチェーン協議会のアドバイザーとなり、その主軸となる事業「こどもスマイリング・プロジェクト」に参画しています。

目の前にある現実的な課題に対し、パブリック・リレーションズに携わる一人として、関わるすべてのステークホルダーがHappyだと感じられる最適解を見出し、少しでも課題解決に貢献できればと考えています。

オズマピーアール
社会コミュニケーション推進室
国友 千鶴

詳細 ▶ WEB オズマピーアール

博報堂DYグループのサステナビリティアクション

社会貢献活動

中高生向けの探究学習プログラム「Hasso Camp」

社会課題解決に向けて未知なる答えを導き出す「発想力」を育む

博報堂DYホールディングスは、社会課題の探究・解決に取り組み、発想力を育む中高生向けの探究学習プログラム「Hasso Camp（ハッソウキャンプ）」の提供を開始しました。

プログラムには、様々な専門領域を持つ当社グループの社員が講師やチームメンバーとして参加します。当社グループが多様な業務を通じて培ってきた独自のフレームワークなどを用いて、強みとする「生活者発想」や「共創力」を中高生の皆さんに体感していただき、豊かな発想力を育みながらそれぞれの個性や可能性に気づくきっかけをつくります。まだ誰も解けていない世界や社会の問題について、自分の頭で考え、仲間と協力して答えを導き出す体験は、次世代を担う中高生の皆さんの大きなチカラになっていくはずです。

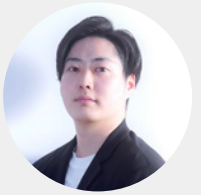
Hasso Campには、年間通じて応募できる学校単位で実施する「Hasso Camp」と、長期の休暇中に高校生が個人で参加できる「Hasso Camp Project ミライ」の2つのプログラムを設けました。

Hasso Campで習得してほしい「新しい学び」とは

Interview

My Aspirations

「きみの視点は、みんなの始点だ。」をスローガンに、チームで発想を広げる楽しさを伝えたい



博報堂
Hasso Camp
運営メンバー
今井 郁弥

当社グループの強みは、生活者発想を通じて、人を多面的に捉え、その視点からアイデアを生み出して人の心を動かすことです。Hasso Campでは、次世代を担う中高生にも発想する楽しさや、多様な視点を持ち共創することの大切さを伝えたいと考えました。スローガン「きみの視点は、みんなの始点だ。」のもとで、Hasso Campが重要視するのが、チームでの活動です。それぞれの視点が集まることで、さらにアイデアが膨らむことを実感してもらいたいという想いがあります。

これまでも、社員が個別に社会課題に取り組んできたプロジェクトはありましたが、当社グループ全体で横断的に行うのは本プログラムが初めてです。中高生の発想力を育むだけでなく、社員とともに社会課題に向き合うことで、新しい共創力が生まれる可能性を探りたいと思います。

Hasso Campでの発表の様子